

Road to . . .

— 行ける進路から行きたい進路へ —

◇行ける進路から行きたい進路へ

2年次になり高校生活も中盤から後半に突入していきます。いよいよ自分の将来についてしっかりと向き合い、そして選択する1年になります。中学時の高校選択とはその重さは比べ物になりません。清桜高校での生活や学び・経験を通じてみなさんが大きく成長し、その先へ自らの意思で羽ばたいてほしいとの思いから「Road to . . . 行ける進路から行きたい進路へ」というタイトルをつけています。

この進路だよりを通じて、みなさんの「行きたい」を叶える応援をしています。

◇進路指導部重点目標

(1) 主体性を軸とした「行きたい進路」への意思決定支援
生徒が「行ける進路」で妥協せず、自らの「行きたい進路」を尊重して主体的に選択できるよう、3年間を通じた体系的なキャリア教育を推進する。自己理解を深めるワークや大学見学等を通じ、早期から将来のビジョンを明確化させることで、自ら判断し、決めるための意思決定能力を育む。

(2) 挑戦し続ける力を養う高い目標設定と確かな学力の確立による国公立大学40名以上
高い目標に果敢にチャレンジする態度を養い、安易な妥協を許さない指導を徹底する。その実践として、偏差値55以上の上位者の育成と目的を持った進路実現にこだわり、学年に応じた家庭学習（1・2年：平日2h/休日4h、3年：平日3h/休日6h以上）の習慣化と、課外活動への積極的参加を促す。

(3) 課題解決能力を高める模試分析ときめ細かな伴走指導
模試結果を活用し、生徒自らが弱点を分析・克服する「課題解決能力」を育成する。二者・三者面談では、最新のデータに基づいた戦略的なアドバイスをを行い、生徒・保護者・教員が一体となった伴走支援を行う。

(4) 「アウトプットと探究」を通じた自立心の育成
授業や部活動において「探究のサイクル」を回すことで、社会の変化に柔軟に対応できる豊かな個性と自立心を育てる。学部・学科研究や「ミライの選択」等の活動を通じ、高校卒業後のビジョンを明確にデザインさせ、社会に貢献できるリーダーシップの基礎を養う。

◇進路指導部の先生

今年度、みなさんの進路行事でお世話になる先生を紹介します。

1年次	
2年次	
3年次	
年次外	

これからの受験は、高校受験のようにはいきません。自分の未来は、自分で決める。そんな強い覚悟をもってこの1年がより充実した1年になるようにしていきましょう。

1年間、よろしくお祈りします。

◇2年次がターニングポイント

2年生での決断が今後のみなさんの将来を大きく左右する決断になってきます。

2年次の進路目標は

☆学力向上☆

平日2時間、休日4時間の学習習慣をより発展・充実させる。国数英においては受験学力へと伸展させ、国公立にも合格できる学力を養成する。偏差値55以上を目指す。

☆キャリア意識☆

将来を見据えた進路選択をさせるために、多様な進路選択を検討させ、高い進路目標を維持させる。目的を明確にもたせた進路選択をさせる。進路に向けてともに向上していく仲間を意識させる。

9日の年次集会では、「2年の夏休みまでに進路を決めよう。」という話をしました。卒業生の進路選択の満足度アンケートにおいて、2年生までに進路決定をした生徒と3年以降に進路決定した生徒では10点満点で1点以上の差があるからです。また、一般受験の9割の生徒が「もっと早くからやればよかった」、「3年では間に合わない」と受験を振り返ってコメントしています。「清桜の生徒の3年の学習量は進学校の2年生以下である」などの絶対的な学習時間の差も伝えました。

現実を見て何を知った今、何を变えますか。

<学力をつけるためには>

学力は

人から何時間教わったかではなく

自分でどれだけ時間をかけて、いかに学習したかで決まる

<進路実現のために>

☆国数英の学力を向上（基礎基本の定着&1月共通テストで6割以上）

特に、英語が進路選択の幅に直結します。何から手を付けていかかわからない人はとにかく英語。

☆模試で自分の志望校をしっかりと記入（高い目標設定）

☆さまざまなことにチャレンジ

当事者意識をもって、クラスのこと、学校のこと、社会のこと、“自分ごと”として考えてみよう。そのときに、高校生のみんなにしかできないことが必ずあります。それを行動して実現していこう。

自分の未来に真剣な人ほど後悔している

「3年になったら頑張る」とみんな言いますが、3年は全員が死ぬ気でやるので差がつきません。差をつけるなら、1・2年の今、周りが遊んでいる時間に1時間でも多く机に向かってください。

1年前から計画を立てて、どのように勉強していくかの見通しを立てておくべきだった

自分の未来に真剣な人ほど後悔している

もっと早くから勉強を始めればよかった。どうせ勉強するなら中途半端にやらず早いうちから本気でやっておけばよかった

英単語や古文単語、文法など、覚えるべきことを早めに覚えればよかった

◇保護者の方へ 《保護者は生徒にとって最高のサポーターです》

進路ガイダンスでは、生徒に「これからの進路を考えたとき、最も大事な1年」という話をしました。受験の準備期に突入し、お子様の進路の悩みが大きくなってくると思います。

生徒には、進学先でどんなことを学びたいのか、どんな学校生活を送りたいのか、夢を叶えるためにはどうしたらよいのかなど学習の内発的な動機づけとなるように進路研究をしてほしいと考えています。また、生徒の考えだけではその方向性が正しい方向かを誤りがちです。なかなか自分のことを話さないお子様もいるかと思いますが、保護者のみなさんには、ぜひ人生の先輩として広い視野でお子様と話をしてもらえればと思います。お子様にとって1番の支えは、どんなときでも保護者のみなさんが見守ってくれていることです。

また、お子様がより良い進路実現、「行きたい」進路を実現するためには学校と家庭が連携をしていくことが重要です。不明なことや心配なことはぜひ担任や相談しやすい先生に相談をするように促していただければと思います。

今年度の主な進路行事

○模試（7月・11月・1月・2月）

◎2年次からの模試は志望校判定があります。自分の進路を明確にできればできるほど有効に模試を活用できます。

河合塾および看護医療系模試については、希望者が受験します。

特に河合塾の模試については、判定結果と本校の生徒の合格との強い相関があります。ぜひ積極的な受験をお願いします。

○課外・・・早朝、夏季休業、冬季休業

授業では扱えない内容や深い学びを実現するために実施しています。希望者課外について、昨年は希望者が少なかったように感じます。受験を見据えて主体的に取り組んでください。

○出前授業（実施するかは未定です。実施を計画中です。）

大学などから講師を招き実際の授業を体験します。

●三者面談※

1学期の学校の様子や3年次の科目選択についての面談になります。3年次の選択科目は12月までには決定します。しっかりと将来や受験を見据えた選択をする必要があります。

●保護者進路学習会※

講師を招き、近年の入試状況などの講演会を実施します。

●：保護者の方が参加する行事になります。

本校は生徒一人一人が主役の学校です。進路指導部としましても生徒一人一人の進路実現のために精一杯バックアップしていきますので、よろしくをお願いします。